



安全衛生情報たかやま

労働災害による死傷者数（9月末現在）

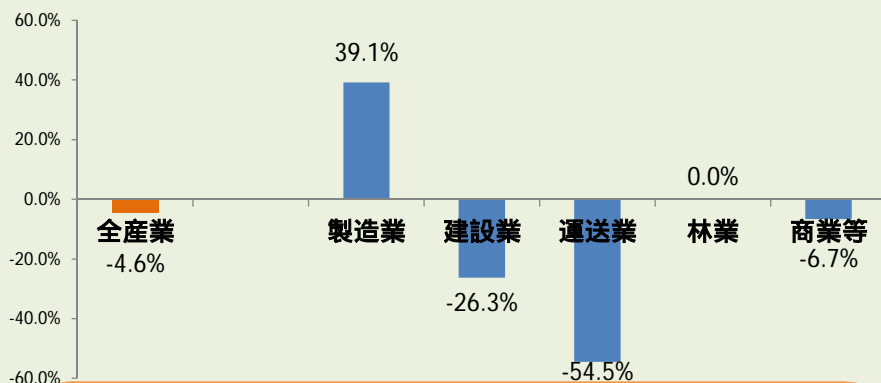
全産業

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 増減率
死亡者数	0 人	5 人	- 5 人	-100.0%
死傷者数	103 人	108 人	- 5 人	-4.6%

主要業種の死傷者数（詳細は、別途死傷災害発生状況をご覧ください）

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 死傷者増減率
製造業	32	(1) 23	9	39.1%
建設業	14	(2) 19	-(2) -5	-26.3%
運送業	5	(1) 11	-(1) -6	-54.5%
林業	10	(1) 10	-(1) 0	0.0%
商業等	42	45	-3	-6.7%

労働者死傷病報告による休業4日以上の死傷者数です。なお、（ ）は死亡者数で内数です。




〔最近の労働災害に関するコメント〕

全産業における労働災害は、前年同期に比べて**5件（4.6%）減少**しています。また、**死亡災害はゼロ**です。業種別に見ても、運送業6件（54.5%）減、建設業5件（26.3%）減と大幅に減少しています。しかしながら、製造業については9件（39.1%）増となっており、特にはさまれ・巻き込まれ災害の占める割合が高く（34.3%）なっています。

災害事例

雨漏り修理中に屋根から墜落する。

業種 事故の型	各種商品小売業 墜落・転落	災害の程度 起 因 物	休業見込み3ヶ月 屋根
災害発生状況		災害発生原因	
屋根から雨漏りしていたため、屋根に上って修理を行っていたところ、足を踏み外して約3m下の地面に墜落した。		1 高さ2m以上の場所で作業するにもかかわらず、墜落防止措置が講じられていなかったこと。	
概 略 図		再発防止対策等	
		1 高さ2m以上の場所で作業を行う場合には、足場を組み立てる等により、作業床を設けること。	
概略図は、参考イメージであり、災害状況を表現したものではありません。		2 作業床を設けることが困難な場合には、安全帯を使用させる等の墜落防止措置を講じること。	

災害発生状況は同種災害防止の見地から編集を加えており、原因・対策は代表的な事項を記載しています。

おしらせ

墜落・転落災害多発中！！

「岐阜県内で6人が墜落・転落災害で死亡しています」

本年、岐阜県内で発生した死亡災害11件のうち、6件が墜落・転落による災害です。

また、本年、当署管内で発生した労働災害103件のうち、墜落・転落による災害は17件（16.5%）発生していますが、そのうち13件（76.5%）は休業が1ヶ月以上となっています。

墜落・転落災害は建設業のみならず、商業や製造業など多くの業種で発生しており、一旦発生すると大きな災害になりやすい災害です。

労働者を高さ2m以上の箇所で作業させる場合には、足場を設けるなど何らかの墜落防止措置が必要です。（労働安全衛生規則第518、519条）

適切な安全対策により、墜落・転落災害を撲滅しましょう。